チケット・予約 （※料金は中面のプログラム紹介をご覧ください。）

各種プログラムの予約・申込受付は8月2日(月)10時より開始します。
右記、予約窓口をご利用ください。

「鳥の演劇祭」予約窓口
（電話）
(0857) 84-3268（鳥の劇場）
（ウェブ）
www.birdtheatre.org/engekisai/reserve/
（電子メール）
ticket@birdtheatre.org

日時指定あり・全て自由席

右記、窓口にて前日の18:00までにご予約ください。ご予約順に入場整理番号をお取りします。
ご予約いただいたチケットの販売は、プログラム実施当日10時半から開始します。
料金は公演当日、受付にてお支払いください。会場内へは入場整理番号の順にご案内します。

※ご予約の際には、入場料が無料の方の人数もお知らせください。
※当日券は座席に空きがある場合にのみ、プログラム実施当日10時半から販売します。
※開演20分前くらいから、チケット販売窓口が混み合います。受付の混雑を避けるため、早めにチケットの購入をお済ませいただくようお願いいたします。
※劇場内への二人連の案内は、開演の30分前となります。開演までの飲食はご遠慮ください。
※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、特定都道府県からのご来場をお断りする場合、あるいはプログラムそのものが中止になる場合がございます。

トリバス（無料送迎バス）を運行します

JR鳥取駅・浜村駅と鳥の劇場を結ぶ無料送迎バスを運行します。
どなたでもご利用いただけます。要予約です。
予約は鳥の劇場（0857-84-3268）まで。

※ご乗車はご予約の方が優先となります。
※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、トリバスの乗車前に検温と体調の確認をさせていただきます。詳細な情報（運行時間等）は「鳥の演劇祭」ウェブサイトにてご確認ください。

バリアフリーをめざします

障がいのある方にもご覧いただけるよう、随時対応いたします。
■聴覚障がいの方のために、セリフが自動的に表示されるiPodをご用意、手話通訳（一部プログラムのみ）を実施します。
■車いすの方など入場時に配慮が必要な方を対象に、優先入場を行なっています。
■視覚障がいの方のために、上演前に舞台空間の説明、上演時に音声ガイド（一部上演のみ）を実施します。

演劇祭を楽しんでいただくために

鳥のカフェ

フェスティバルといえば、美味しいごはんやスイーツ! 今年も鳥取市のcafé-neeにご協力いただき、鳥のカフェがオープンします。昨年は、俳優陣も急遽カフェスタッフになるほど盛況な時間も。人気のランチプレートの他、テイクアウトできる軽食もたくさんご用意しています。カフェだけのご利用も大歓迎です。気軽にお立ち寄りください。

営業日時:プログラム実施日の11:00~19:00

完売の場合は、販売を終了させていただくこともあります。
人気のランチプレートなどはどうぞお早めに!
【販売メニュー】ランチプレート（日替わり）/1,100円（税込）
※その他のメニューは、9月以降「鳥の演劇祭」ウェブサイトにてお知らせします。

ランチプレートをご予約の方に、
鳥のカフェ100円引きクーポンをプレゼント!
演劇祭期間中はいつでも使えますので、ぜひご利用ください。
※ランチプレートのお会計にはご利用になれません。

鳥の演劇祭セレクトショップ

毎年大好評の期間限定スペシャルショップが、今年もオープン。俳優・齊藤頼陽がオススメする鳥取の民芸品、工芸品や食べ物、鳥グッズを集めてご紹介します。みんなが知っている銘品から、なかなか出会えない逸品まで幅広い品揃えでお出迎え。プログラム実施日、最初から最後までオープンしますので、プログラムを楽しむ前はもちろん、楽しんだ後にもゆっくりとご利用いただけます。ショップだけの利用も大歓迎! 鳥のカフェと合わせて是非ご利用ください。
営業日時:プログラム実施日の10:00~21:00

鳥の演劇祭にご参加いただくにあたって

鳥の演劇祭にご参加いただくにあたり、右記の点にご注意、ご協力ください。

駐車場
薬研堀駐車場と鹿野町総合支所駐車場の二ヶ所になります。
（旧鹿野小学校校庭は駐車場としてご利用いただけません。）

検温所
駐車場の近くと鳥の劇場に検温所を設置し、お客様の検温と体調の確認を行います。
受付時間は朝10時から最終プログラムの開始時刻までです。連絡先の記入もお願いしております。
体調に問題のないお客様には、ご来場日のみ有効なリストバンドを配布いたします。
検温所で配布されたリストバンドを着用されたお客様に限り、イベントにご参加いただけます。

マスクの着用
イベントに参加されるお客様は、マスクの着用をお願いいたします。検温所でも販売します。

とっとり新型コロナ対策安心登録システム
検温所で検温する前に、登録をお願いします。※登録のためのQRコードは検温所に当日、掲示します。

Schedule（スケジュール）

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
9/11［土］		11:00 大澤真幸 講演 →ホワイエ		13:30 『ロミオとジュリエット』から生まれたもの」 →劇場			16:00 じゆう劇場の人たちと自由に体を動かそう →劇場		18:30 『プレヒト版「アンティゴネ」』 →特設野外劇場		
				13:00 / 14:00 / 15:00 小鳥の家族 →鳥の劇場周辺・鹿野町内							
12［日］		11:00 播磨靖夫 講演 →ホワイエ		13:30 『ロミオとジュリエット』から生まれたもの」 →劇場			16:00 対談 大澤真幸 × 播磨靖夫 →ホワイエ		18:30 『プレヒト版「アンティゴネ」』 →特設野外劇場		
				13:00 / 14:00 / 15:00 小鳥の家族 →鳥の劇場周辺・鹿野町内							
18［土］		11:00 不条理劇「戦場のピクニック」を読むワークショップ →ホワイエ		13:30 『おとしモノ』 →劇場			16:00 家の図面を読むワークショップ1 →ホワイエ		18:30 『戦場のピクニック』 →特設野外劇場		
	10:00 親子フォトキャラバン →鳥の劇場周辺・鹿野町内			13:00 / 14:00 / 15:00 小鳥の家族 →鳥の劇場周辺・鹿野町内							
19［日］		11:00 家の図面を読むワークショップ2 →ホワイエ		13:30 『おとしモノ』 →劇場			16:00 対談 塚本由晴 × 中島諒人 →ホワイエ		18:30 『戦場のピクニック』 →特設野外劇場		
	10:00 親子フォトキャラバン →鳥の劇場周辺・鹿野町内			13:00 / 14:00 / 15:00 小鳥の家族 →鳥の劇場周辺・鹿野町内							
25［土］		10:30 tupera tupera 工作ワークショップ →ホワイエ		13:30 『みつばち共和国』 →劇場			16:00 苅宿俊文 講演 →ホワイエ		18:30 『すてきな三にんぐみ』 →特設野外劇場		
26［日］		11:00 亀山達矢 講演 →ホワイエ		13:30 『みつばち共和国』 →劇場			16:00 対談 亀山達矢 × 苅宿俊文 →ホワイエ		18:30 『すてきな三にんぐみ』 →特設野外劇場		

鹿野町map

セレクトショップに関わるようになって8年目。上演される作品はもちろん、演劇をやっている人たちがその前後や裏側で一生懸命やっている姿を近くで見られるのが、鳥の劇場の楽しさ。普段の主婦としての生活から一転、年に一度の演劇祭は鹿野を訪れる異なる土地の人々と出会う刺激を与えてくれるんですね。
鳥の演劇祭セレクトショップ店員 **小濱浩美さん**

出会いは劇場がまだ体育館そのものだったころ。得体の知れない集団の「貴婦人政郎に帰る」を観てしまった!
そして、2012年の「結婚申し込み」では自身で演じたチュブコーフ。あの時、私の中で何かが弾けた。
演劇祭で全国各地から観劇にいらっしゃる皆さんにお会いする時は、鹿野に生きてて良かったと思う瞬間です。
「道の駅西いなば気楽里」駅長 **徳岡義広さん**

通っている学校のすぐ近くに、鳥の劇場があります。劇場で演劇をつくるのは観ているだけの時にはわからないくらいに細やかな作業で、だから想像することが大切なんだ、と「小鳥の学校」で知りました。鳥の劇場には、アイデアマンや面白い人がたくさんいて、学校ではそれをたくさんことがたくさん経験できる場所です。
「小鳥の学校」受講生 **佐藤瑠海さん**

鳥の劇場で作品が上演される夜、私達はすでに翌日に備えて夢の中にいます。
自ら観劇するのは年に一度くらい。
なので、劇場の皆さんや関係者・来場者の皆さんがパンを買う姿から、作品を想像し、ひっそりと楽しみます。肝心な中身にはどっぷり浸かれなくても、皆さんの姿から何からしの考える きっかけを頂いているのです。
鹿野町のパン屋 **パン一心庵さん**

山奥の劇場と東京の劇場では、置かれている環境も違うから、同じ演目でも劇の意味が変わりますね。
俳優が仕事をするのが見えたり、演出家と直接話せたり、舞台含めすべてが「近い」ことを、そして年に何度も上演をすることを含め、地方の劇場としてこんな場所はなかなかありません。演劇祭では、演目の合間に町に出て、温泉とお酒愛を楽しむのもオススメです。
法哲学者 **丸祐一さん**

トイレ　身障者用トイレ　喫茶　食事　「迎来だけのまちのみせ」出店場所　トリバス停車場所　検温所　駐車場

会場（鳥の劇場へのアクセス）

鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話：(0857) 84-3268

演劇祭プログラム実施日は、JR鳥取駅・浜村駅から鳥の劇場まで無料送迎バスを運行します。
※利用人数把握の都合上、必ず事前のご予約をお願いします。
詳細な運行時間は、「鳥の演劇祭」ウェブサイトにてご確認ください。

■JRを使って　会場（鳥の劇場）の最寄り駅は浜村駅です。
※演劇祭プログラム実施日は鳥取駅と浜村駅、ふたつの駅から送迎を行います。
ご利用の際は、利用人数把握の都合上、必ず事前にご予約ください。
□浜村駅まで ・鳥取駅から、山陰本線、米子方面行きで30分
・倉吉駅から、山陰本線、鳥取方面行きで25分
・米子駅から、山陰本線、鳥取方面行きで1時間40分
□浜村駅から ・車で15分

■車を使って　演劇祭期間中は会場近くに案内看板を設置します。
※駐車場は、薬研堀駐車場と鹿野町総合支所駐車場の二ヶ所をご利用ください。
・山陰道 鳥取西道路、浜村鹿野温泉IC・瑞穂宝木ICから約10分
・鳥取空港から約30分
・鳥取市中心部から約30分
・倉吉市中心部から約40分
・米子市中心部から約1時間20分

劇場のある鹿野には温泉もあります

鹿野の温泉は「おんな湯」と呼ばれ、肌にやさしいことが特徴。観劇の合間や観劇後にゆったりつかって、汗を流されてはいかがでしょうか。

鹿野町内の日帰り温泉施設

■国民宿舎山紫苑
(0857)84-2211 www.sanshien.jp
●日帰り入浴受入時間／11:00~20:00
庭園露天風呂、地元の食材を活かした料理が楽しめる温泉旅館。日帰り入浴の利用も可能です。

■温泉館ホットピア鹿野
(0857)84-2698
●営業時間／10:00~22:00
露天風呂もある日帰り温泉施設。隣には採れたて野菜も買える「鹿野おもしろ市場」もあります。

演劇祭期間中、鹿野ではこんなイベントもあります

イベント①：週末だけのまちのみせ　2021年9月11日(土)~26日(日)の土日
城下町の空き家や空き店舗を利用した出店イベント。秋の鹿野に飲食や雑貨などの「いまだけ・ここだけ」のお店があつまります。鳥の演劇祭会場にキッチンカーも多数出店予定です!

イベント②：虚無僧行脚　2021年9月26日(日)14:00~16:00
尺八愛好家の方々が虚無僧に扮し、尺八を奏でながら鹿野城下町を練り歩きます。

イベント③：“西いなばしかの昭和の町並み「今はむかし」プレイベント”「昭和レトロ展」~2021年9月26日(日)9:00~17:30
鳥取市鹿野往来交流館のホールに昭和の町並みを再現。どこの家にもあった懐かしい品々の展示や駄菓子の販売も。町並みには“遊戯スペース”も登場。演劇祭期間中の土日は“スーパーボールすくい”や“消しゴムすくい”で遊べます。

イベント④：アイテムをゲットしてこれのり君を完成せよ
2021年9月11日(土)~26日(日)の土日
指定された場所でクイズに挑戦して、鹿野城主亀井鼓姫公のイメージキャラクター“これのり君”の武器を集めよう。全てそろえた人には「これのり君せんべい」プレゼント!ゲーム感覚で城下町を散策できます。

イベントの開催時間、場所等の詳細は、ウェブサイトにてご確認ください。
イベント①　「週末だけのまちのみせ」ウェブサイト　smachimise.com
イベント②　「NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会」ウェブサイト　shikano.org
イベント③・④「鳥取市鹿野往来交流館 童里夢」ウェブサイト　shikano-dream.jp
問合せ：イベント①・②　NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会　(0857)84-1188
イベント③・④　鳥取市鹿野往来交流館 童里夢　(0857)38-0030

豊岡演劇祭2021

二つの演劇祭を結ぶバスを運行します

9/9（木）~9/20（月・祝）で鳥取県のお隣、兵庫県の豊岡市を中心として「豊岡演劇祭2021」が開催されます。期間中、二つの演劇祭を結ぶバスを運行します。土曜日は鹿野町で「鳥の演劇祭14」、日曜日は豊岡市で「豊岡演劇祭2021」なんて楽しみ方も。運行日時等の詳細は「麒麟のまち観光局」ウェブサイトにてご確認ください。
※新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、運行する場合もあります。必ず事前にウェブサイトでご確認の上、ご利用ください。

未来を選ぼう。
「コロナ」の向こうに何を見る？

変わるべきなのに変われない私たちの社会。
先の見えない地方の生活。
集まって考える場が必要だ。
楽しむ、考える。
「演劇」と「ちがう分野」の掛け算で
出会いと思考の場を作る演劇祭。

"BIRD" THEATRE FESTIVAL TOTTORI 14

鳥の演劇祭14

2021年9月11日(土)~26日(日)

会場：鳥の劇場（鳥取県鳥取市鹿野町）

SAT 11- SUN 26 SEPTEMBER 2021
BIRD Theatre
1812-1 Shikano, Shikano-cho, Tottori City, Tottori Prefecture, 689-0405
Telephone:0857-84-3612
E-mail:engekisai@birdtheatre.org
Web:www.birdtheatre.org/engekisai/

トリバスを運行します。
JR鳥取駅・浜村駅と鳥の劇場を結ぶ無料送迎バスです。

鳥の演劇祭14の新型コロナウイルス感染症予防対策

鳥の演劇祭では、観客や参加者の皆さまと運営スタッフの健康と安全の確保を最優先とし、ガイドラインを設け、衛生管理対策を講じた上で開催いたします。

- 観客や参加者同士が十分な距離を取れる広さの場所、定員でプログラムを実施します。
- 会場の定期的な換気、消毒を行います。
- 各所に消毒用アルコールを設置します。
- 検温にご協力ください。
- マスクの着用をお願いいたします。
- 「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」への登録を推奨します。
- 参加するスタッフ・キャストは、毎日検温します。
- 県外から参加するスタッフ・キャストは、PCR検査を受診し陰性を確認後、来県します。

【主催】鳥の劇場運営委員会　【共催】鳥取県　鳥取市　【助成】文化庁 令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業（一部事業除く）【後援】鳥取県教育委員会　鳥取市教育委員会　米子市教育委員会　倉吉市教育委員会　境港市教育委員会　岩美町教育委員会　若桜町教育委員会　智頭町教育委員会　八頭町教育委員会　三朝町教育委員会　湯梨浜町教育委員会　琴浦町教育委員会　北栄町教育委員会　日吉津村教育委員会　大山町教育委員会　南部町教育委員会　伯耆町教育委員会　日南町教育委員会　日野町教育委員会　江府町教育委員会　新日本海新聞社　朝日新聞鳥取総局　山陰中央新報社　毎日新聞鳥取支局　読売新聞鳥取支局　産経新聞社　日本経済新聞社鳥取支局　中国新聞鳥取支局　NHK鳥取放送局　日本海テレビ　BSS山陰放送　TSKさんいん中央テレビ　共同通信社鳥取支局　時事通信社鳥取支局　日本海ケーブルネットワーク　いなばびょんびょんネット　エフエム山陰　FM鳥取・RADIO BIRD　鳥取県PTA協議会　公益財団法人鳥取県文化振興財団　在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本　「プログラム・ディレクター」中島諒人（演出家／鳥の劇場芸術監督）

「鳥の演劇祭」問合せ窓口（鳥の劇場内）　〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1　〈電話・FAX〉(0857) 84-3612　〈電子メール〉engekisai@birdtheatre.org　〈ウェブサイト〉www.birdtheatre.org/engekisai/

人口減、高齢化、経済の衰退などで、地方は現在本当に厳しい状況にあります。今、普通に暮らす人たちこそが、じっくり考え、将来のあり方について自覚的主体的に選択をしていかなければ、私たちの、そして将来世代の良き未来は失われていくのです。

今、地方にこそ出会いによる刺激と、刺激に促された思考が必要です。コロナの状況は、もともと弱っていた生活の各種基盤をさらに痛めつけました。そして私たちに立ち止まることを強いました。考え、悩む時間をくれました。人間について、社会について、生きることについて、あるいは自分の仕事の意味について、多くの人が今までの「当たり前」を疑う機会になりました。コロナによる停滞や混乱を好機と捉え、私たち自身が変わらなければなりません。

今年の鳥の演劇祭は、演劇と別分野を結合させ、毎週テーマを決め講師の方から話を聞いたりワークショップに参加しながら、そして演劇作品を観ながら、これからの社会のあり方について、地方での生活の未来について、多角的に思考する新しい交感の場を作ります。

鳥の演劇祭プログラム・ディレクター　中島諒人

単にお芝居を楽しみに行くのでなく、「え？とよくわからない」という感覚をもらうのが好き。
鳥の劇場は、アイデアをもらうところ。ひとつの物事に対して多様な捉え方ができるようになるし、それを自分の暮らしの中での表現に生かしています。
マスクアクセはなりますが、観客にきちんとわかってもらおうとしている姿勢も好きです。
常連のお客さま（鳥取）**河本志度子さん**

年に1回は観に行かせていただいています。私にとって、日常の中に存在するハレとケの、まさにハレの場所。気持ちの良い場所、心豊かになる場所、大人のテーマパークです。
作品として子供も大人も一緒に見られるのも大きな魅力ですね。「イワシ食堂」のように作品の内容から暮がった、地域と連携したイベントも楽しい。
常連のお客さま（岡山）**井上瑞穂さん**

2012年の演劇祭から、通年で鳥の劇場に関わっています。作品へのイメージを高く持って向かわないといけない演劇の登竜は、日々勉強です。
演劇祭は、照明や舞台チームなど、毎年招集されるスタッフ達との再会の場所であり、その年に招聘されるカンパニーのスタッフも含め、同業の方々の仕事を楽しく見ては学びと刺激をもらう機会ですね。
音響（オペラ企画株式会社）**大黒裕典さん**

鳥の劇場は、私の交遊関係や行動範囲を広げるきっかけ、知らない世界への入り口のような場所です。お芝居を観に行くだけでなく、劇場の中に話せる人たちがいたから、ずっと通ってきたんだと思います。鳥の劇場で作品を見る度に衝撃を受け、自分のことをとても話られる世界が広がったり、他劇場の公演も観に行けるようになりました。
常連のお客さま（鳥取）**伊藤輝子さん**

受付から足を進めるほどに、現実の世界を離れて心地よい空間に誘われていくのが劇場の面白さ。また、演劇祭でいくつもの作品を観るのは、さまざまな土地の生活や考えを知る旅をするような気分ですね。自分の生まれた町に、文化の場としての劇場があるのを誇りに思っています。
鹿野町民 **村上恵子さん**

鳥の演劇の公演や演劇祭で、舞台監督を担当しています。劇場の楽しさは、思い通りにはならなくても手を動かしただけ出来上がっていくところ。
だからこそ、心ある演劇祭は、きっとどれも楽しいと思います。劇場があって救われたと思う人が一人でもいればそれで充分なのではないでしょうか。
舞台監督（株式会社ステージワークURAK）**中井尊奏さん**

鳥の劇場は社会的メッセージのある作品が多く、アフタートークも含めてひとつの作品と感じますね。立場の違いで喧嘩になるかもしれないテーマも、文化芸術を介することで冷静に語り合える。
劇場には社会への気づきの役割を担っていてほしいです。そこから、自分はどうしようかという一人ひとりの行動のきっかけが生まれると思います。
鹿野町民 **山根裕太さん**

鳥の劇場の大きな楽しみはパーティー。役者・スタッフ・観客らと作品についてのお話ができる楽しい時間です。
自熟して作品本編の上演時間よりも長時間になったアフタートーク一印象に残っています。
そして個人的な演劇への興味・好奇心から足を運んでいた劇場も、子供が生まれてからは「子供を連れて行ってやりたい場所」に変化した気がします。
常連のお客さま（鳥取）**伊藤亘さん**

第一週
［9月11日（土）・12日（日）］

「私」の向こうに何を見る？

「私」をすべての起点とするのは、自由を旨とする近代社会で最も基本とされることです。しかし「私利」の追求は、経済の面では天文学的とも言える格差を生み、社会生活の面では異なる他者を排除する不寛容となって大きな問題となっています。『私』は最も尊重されるべきです。「私権」の制限には最大限の慎重さを持って臨まなければなりません。「私」を制限する隣国が、コロナもさっさと乗り越えて繁栄を謳歌しているように見えるのも気になるところです。どの「私」も抑圧することなく、どの「私」も幸福になる方法はあるのでしょうか？容易でないことは百も承知ですが、そのヒントになる考えをお二方のご専門の立場からお示しいただき、意見交換もしていただきます。

大澤真幸　講演　9月11日（土）11:00～12:30　料金：大人1,000円／18歳以下500円　手話通訳　→ホワイエ

播磨靖夫　講演　9月12日（日）11:00～12:30　料金：大人1,000円／18歳以下500円　手話通訳　→ホワイエ

対談　大澤真幸 × 播磨靖夫　9月12日（日）16:00～17:30　料金：大人1,000円／18歳以下500円　手話通訳　→ホワイエ

※上記の講演・対談への未就学児のご参加はご遠慮ください。

大澤真幸
1958年、長野県松本市生。東京大学大学院社会学研究科修了。社会学博士。千葉大学助教授、京都大学大学院人間・環境学研究科教授等を歴任。現在、個人思想誌「Thinking「O」」（左右社）を主宰。「ナショナリズムの由来」（毎日出版文化賞）、「自由という牢獄」（河合隼雄学芸賞）、「新世紀のコミュニズム」、「（世界史）の哲学」等、著書多数。

播磨靖夫
一般財団法人たんぽぽの家理事長。新聞記者を経てフリージャーナリストに。障害のある人たちの生きる場「たんぽぽの家」づくりを市民運動として展開。アートと社会の新しい関係をつくる「エイブル・アート・ムーブメント（可能性の芸術運動）」を提唱。「ケアする人のケア」「アートミーツケア学会」など、ケアの文化の創造にも取り組んでいる。平成21年度 芸術選奨 文部科学大臣賞（芸術振興部門）受賞。

じゆう劇場［鳥取］　→劇場

「私」という概念は「健常」な戦える人間を前提としている、その再検討を迫るじゆう劇場版「ロミオとジュリエット」

En　音声ガイド　手話通訳

『「ロミオとジュリエット」から生まれたもの』

JIYU Gekijo-Freedom Theatre
Things Born Out of "Romeo and Juliet"

9月11日（土）・12日（日）13:30 ※11日16時から出演者も参加するワークショップを実施します
料金：大人1,500円／18歳以下無料

原作：ウィリアム・シェイクスピア
構成・演出：中島諒人　齋藤頼陽
出演：じゆう劇場

障がいのある人と ない人、なんとなく間に線が引かれがち。けれどそんな線や壁なんて全く意味なし。いっしょに演劇を作り、演劇を通じて自分の存在を見せ、自分の言葉で願いや不便を語り、同じ時代同じ場所を生きる者として、お客さんも巻き込んで生きる苦しみと喜びを分かち合う。それがじゆう劇場。今年は「恋愛」と「差別」を主題に、不朽の名作「ロミオとジュリエット」を下敷きにして2021年版新作として大いに脱線しつつ本質をえぐります。「障がい」というレッテルが隠している一人ひとりの多様な豊かさやユニークさをじっくりとお楽しみください。

じゆう劇場
鳥の劇場プロデュースのもと、2013年8月に活動を開始したプロジェクト。障がいのある人、ない人がいっしょに舞台を作り、日常では隠れがちなそれぞれの豊かさを発見し、観客と分かち合うことを目指す。継続的に作品を作り、鳥取県内外で作品を発表。2017年にはフランス・ナント市での公演も実施、大好評を博した。

主催：鳥の劇場運営委員会
協力：鳥取県　助成：文化庁 令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

→特設野外劇場

鳥の劇場［鳥取］

日和見の大衆と独裁者の相互不信と共依存、私欲の行き着く先の大崩壊を描く

En

『ブレヒト版「アンティゴネ」』

BIRD Theatre Company TOTTORI
Antigone by B.Brecht

9月11日（土）・12日（日）18:30 ※11日終演後にアフタートークを行います
料金：大人2,500円／18歳以下500円／小学生以下無料

原作：ベルトルト・ブレヒト　翻訳：谷川道子
構成・演出：中島諒人
出演：齋藤頼陽　中川玲奈　高橋等　中垣直久　安田茉耶　後藤詩織　大川潤子

紀元前五世紀のソフォクレスの傑作「アンティゴネ」は、死者の埋葬をめぐる時の権力者の選択と人間の普遍的倫理のぶつかり合いを描き、長い時を超えて現代社会にも大きな問いを与え続けています。ブレヒトはそれを踏まえながら、第二次世界大戦でのヒトラーとドイツ国民の関係を批判的に考察して本作を書きました。この上演は、富裕層が暮す高級老人ホーム「ニッポン」での文化祭という枠組みでの上演とし、現代日本の状況との批判的対話を試みます。かつて築いた富で人生を逃げ切れると高を括った彼らは生き残れるのでしょうか。

じゆう劇場の人たちと自由に体を動かそう

じゆう劇場のメンバーといっしょに体を動かして、観るだけでは分からない、"じゆう"を感じてください。
9月11日（土）16:00～17:00　手話通訳
料金：無料　講師：中島諒人

興味を持った最初のきっかけは、友達が鳥の劇場の公演に出たのを観にいったこと。そこから自分でもお芝居をつくったり、演じるのが好きになりました。
劇場の楽しさは、公演が終わるとみんな思ってることはバラバラだけど、共通に感じていることもあること。そして、それもいろんな世代の人たちで交換できることだと思います。
「小鳥の学校」受講生 **山根小夏さん**

第二週
［9月18日（土）・19日（日）］

「過去」の向こうに何を見る？

未来を考えるには、過去を見るのが得策だというのは、いろんな場面で感じることです。読みづらい「過去」の図面や戯曲を、専門家とともに読もうというのがこの週のテーマです。建築家の塚本さんには過去の「家」を紹介してもらいます。鳥の演劇祭プログラム・ディレクターの中島は過去の「戯曲」を紹介します。「家」には施主の希望だけでなく、設計者が願う人間の日々の営み、こんなふうに生きてほしいという生活への願いが込められているはずです。戯曲にも作者の願う人間観が書き込まれていて、それはしばしば既存の秩序を揺乱する者として現れるのですが、ともかく作者の願いや既存社会への批判が込められています。「過去」を通じて、願望された未来を読み起こします。

不条理劇「戦場のピクニック」を読むワークショップ　9月18日（土）11:00～12:30　講師：中島諒人　料金：大人1,000円／18歳以下500円　→ホワイエ

家の図面を読むワークショップ1　9月18日（土）16:00～17:30　講師：塚本由晴　料金：大人1,000円／18歳以下500円　→ホワイエ

家の図面を読むワークショップ2　9月19日（日）11:00～12:30　講師：塚本由晴　料金：大人1,000円／18歳以下500円　→ホワイエ

対談　塚本由晴 × 中島諒人　9月19日（日）16:00～17:30　料金：大人1,000円／18歳以下500円　→ホワイエ

※上記のワークショップ・対談への未就学児のご参加はご遠慮ください。

塚本由晴
1965年神奈川生まれ。1987年東京工業大学卒業。1987～88年パリ・ベルビル建築大学。19東京工業大学大学院博士課程在学中の1992年、貝島桃代とアトリエ・ワンの活動を始め、建築、公共空間、家具の設計、フィールドサーベイ、教育、美術展への出展、展覧会キュレーション、執筆など幅広い活動を展開。ふるまい学を提唱して、建築を産業の側から人々や地域に引き戻そうとしている。東京工業大学大学院教授、博士（工学）。

中島諒人
演出家。1966年生。2006年より「鳥の劇場」をスタート。二千年以上の歴史を持つ文化装置＝劇場の本来の力を社会に示し、演劇／劇場の深い価値が広く認識されることを目指す。2003年利賀演出家コンクール最優秀演出家賞。2010年芸術選奨文部科学大臣新人賞。BeSeTo演劇祭日本委員会代表。

累累［東京］　→劇場

「落とし物」が見知らぬ二人を結びつけ、多様な身体的戯れとともに豊かな心の関わりを見せてくれる

『おとしモノ』

RuiRui
Lost and found

9月18日（土）・19日（日）13:30 ※18日終演後にアフタートークを行います
料金：大人2,500円／18歳以下500円／小学生以下無料

作・演出・振付・出演：累累（藤田善宏・丸山和彰）

奇想天外で心に染める、声の無い「物語」。絵巻物のように展開する独特の手法は、まるで昔の無声映画を観ているかのような不思議な体験です。セリフを使わない事により、海外の方や舞台好きな方はもちろん、子供からお年寄りまで三世代揃って楽しめる作品です。様々な登場人物を演じるダンサーとパントマイマー。二人の異なる身体が発するセリフ、あなたの想像力で観る無限の物語の中には、あなた自身の人生も投影されるかもしれませんね。

累累（ルイルイ）
日本のコンテンポラリーダンス界を牽引するダンスカンパニー"コンドルズ"のメンバーであり、自身が主宰のダンスカンパニー"CAT-A-TAC（キャットアタック）"にて、文化庁芸術祭舞踊部門新人賞を受賞した藤田善宏と、世界最大の演劇祭であるEdinburgh Festivalで地元紙から"masters of mime"（パントマイムの匠）と賞賛されたパントマイムグループ"CAVA"の主宰、丸山和彰がタッグを組んだ、無声劇ユニット。

©HARU

©HARU

協力：CAT-A-TAC

鳥の演劇祭14プロデュース作品　→特設野外劇場

「戦争」と「家庭」の合間から、人間の優しさ・残酷・無力・憎悪など真逆の多量の感覚が交錯する

En

『戦場のピクニック』

Picnic on the Battlefield

9月18日（土）・19日（日）18:30 ※18日終演後にアフタートークを行います
料金：大人2,500円／18歳以下500円／小学生以下無料

作：フェルナンド・アラバール
演出：中島諒人
出演：高橋等　中垣直久　後藤詩織　ホリユウキ（DULL-COLORED POP）
斎藤友香莉　下地萌音
舞台美術：カミイケタクヤ

スペインの劇作家アラバールが1961年に発表した作品。二人の素朴な兵隊と一組の夫婦が戦場で織りなす千後の物語。演劇的なシンプルさと象徴性や祝祭性を通じて、身現実的なコミカルさと残酷さが浮かび上がります。登場人物は時に過剰に素朴で時に暴力的、性善説的人間観と性悪説的人間観を行き来しながら、現代の人間像を冷徹に浮かび上がらせます。本作は第二次大戦後も続いた独裁者フランコ将軍支配の元でのスペインの混乱を踏まえています。60年前の特定の地域状況による戯曲ですが、戦争そして人間の本質を深く捉えており、観る者に新鮮な戦慄を与えます。

関連企画

小鳥の家族　Family photo Session by MIZUMOTO Shunya

→鳥の劇場周辺・鹿野町内

鳥取県八頭町出身の写真家・水本俊也さんによる写真プロジェクト「小鳥の家族」。水本さんが、鹿野の自然の中で家族のポートレートを撮影してくれます。すぐに予約枠が埋まってしまう人気企画!! 撮影した写真をポストカードでもらえる特典付きです。

9月11日（土）・12日（日）・18日（土）・19日（日）各日13:00/14:00/15:00
定員：各日3組　集合場所：しかの心　料金：家族1組　4,000円
※特典：ポストカード（1枚・モノクロ）、撮影データ（2カット・モノクロ）
◆持ち物・身近な自然を楽しむ心
・鳥の演劇祭を楽しむ心
・雨具（カッパ、ポンチョ、傘）※少雨決行
◆参加資格　「小鳥の家族」写真プログラムに賛同いただけるご家族
・写真使用に同意いただけるご家族
お申込み・問合せ：「小鳥の家族」ウェブサイト
https://kotorinokazoku-gekijyou.amebaownd.com

写真ワークショップ『身近な自然を親子で撮影しよう!』
親子フォトキャラバン　Family photo Workshop with MIZUMOTO Shunya

→鳥の劇場周辺・鹿野町内

身近な自然を舞台に、日常の中の大切なものを、カメラ片手に切り撮ります。親子で気軽に参加できるデジタル一眼レフカメラ使用の写真プログラムです。撮影写真データは後日郵送します。「ジュニア鹿展」への参加を推奨します。

9月18日（土）・19日（日）10:00～12:00
定員：各日5組（2名1組・大人と子どものペア）　集合場所：しかの心　料金：親子1組（2名）1,000円
※デジタル一眼レフ1人1台使用、機材保険込　※撮影データは実施後1週間以内に郵送（送料込）
◆持ち物　・身近な自然を楽しむ心
・鳥の演劇祭を楽しむ心
・雨具（カッパ、ポンチョ、傘）※少雨決行
◆参加資格　「親子フォトキャラバン」写真プログラムに賛同いただける親子
・写真使用に同意いただける親子
お申込み・問合せ：
「親子フォトキャラバン」ウェブサイト　https://oyakophotocaravan.amebaownd.com
機材協力：キヤノン株式会社

「果樹の里山」でいろいろ体験
Let's Experience SHIKANO KOUCHI FRUITS VILLAGE in the Satoyama Landscape!

→果樹の里山（鹿野町河内集落）

鹿野町河内集落に出来た「果樹の里山」。耕作放棄地に果樹の苗木を植え育てています。実りの時期を迎えた里山で"いちじく狩り・栗拾い体験"をしてみませんか？ 日曜のお昼には焼き立ての"里山ピザ"の販売もあります。

9月11日（土）～26日（日）の土日
※実施時間等の詳細は、下記ウェブサイトにてご確認ください。
「鹿野町河内果樹の里山」ウェブサイト　kajyuno-satoyama.com
お申込み・問合せ：NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会　（0857）84-1188

tupera tupera　工作ワークショップ　9月25日（土）10:30～12:30　講師：亀山達矢
料金：大人1,000円／18歳以下500円　※別途、材料費が必要になります。　→ホワイエ

苅宿俊文　講演　9月25日（土）16:00～17:30　料金：大人1,000円／18歳以下500円　→ホワイエ

亀山達矢　講演　9月26日（日）11:00～12:30　料金：大人1,000円／18歳以下500円　→ホワイエ

対談　亀山達矢 × 苅宿俊文　9月26日（日）16:00～17:30　料金：大人1,000円／18歳以下500円　→ホワイエ

※上記のワークショップ・講演・対談への未就学児のご参加はご遠慮ください。

tupera tupera（ツペラ ツペラ）亀山達矢
亀山達矢と中川敦子によるユニット。絵本、工作、ワークショップ、アートディレクションなど様々な分野で幅広く活動している。著書に「ふくろのハンマッ」「バンダ銭湯」「かおノート」「やさいさん」など多数。NHK Eテレの工作番組「ノージーのひらめき工房」のアートディレクションも担当。2019年に第1回やなせたかし文化賞大賞を受賞。武蔵野美術大学造給学科版画専攻 客員教授、大阪樟蔭女子大学 客員教授。

©飯岡愛門

苅宿俊文
青山学院大学社会情報学部教授、青山学院大学LCD研究所所長、東京芸術大学非常勤講師、東京芸術劇場運営委員、NPO鳥の劇場教育活動アドバイザー、専門はコミュニケーション力の育成を目的とした協働的な芸術表現体験活動と省察活動を組み合わせた授業デザインの実践的研究。編著書では「ワークショップと学び（全3巻）」など多数。

鳥の劇場［鳥取］　→特設野外劇場

怪力無双の悪者三人組が一人の女の子と出会い、巡り巡って偉大な歴史を残してしまう

En

『すてきな三にんぐみ』

BIRD Theatre Company TOTTORI
The Three Robbers

9月25日（土）・26日（日）18:30 ※25日終演後にアフタートークを行います
料金：大人2,500円／18歳以下500円

原作：トミー・ウンゲラー
構成・演出：中島諒人
出演：齋藤頼陽　中川玲奈　高橋等　中垣直久　安田茉耶　ホリユウキ（DULL-COLORED POP）　下地萌音　斎藤友香莉

青と赤が印象的な美しい絵本で有名な物語。まさかり、ラッパ銃、コショウ吹きつけという魅力的武器を生かして略奪を繰り返す悪づくめの不思議な三人。彼らは、「富の収集」自体が目的化したかのよう。そんな彼らが孤独な少女と出会い「富の分かち合い」を始めてしまい、それが巡って…。1961年に発表された物語（日本語版は1969年）は、現代にも通じる資本主義社会批判のようです。実際ウンゲラーは社会批評作家としての顔も持っていました。まさに難しい主題を深く優しく語った作品。鳥の劇場の大人気レパートリーを野外劇として上演します。

鳥の演劇祭ボランティアスタッフ大募集!

今年もボランティアスタッフを募集します。ボランティアスタッフの方には事前の会場設営や広報活動など、また、当日はカフェやワークショップのお手伝いなどをお願いしたいと思っております。運営スタッフと一緒に、演劇祭を楽しみながら盛り上げてくれる方、ご参加をお待ちしております!

◆活動期間・場所
8月1日（日）～9月30日（木）の期間内でご希望の日をお選びください。場所は主に鹿野町内になります。
※長期のご参加はもちろん、ご都合の良い時間帯だけでも歓迎です。

◆応募資格
鳥取県内在住で中学生以上の方（中高生の方は保護者の承諾が必要となります。）

◆主な活動内容
①民泊の掃除・準備
②広報活動（チラシやポスターの街中への配布や、県内外への発送作業）
③公演及びワークショップのお手伝い（受付回りの準備、清掃、簡単な大工仕事など）
④場内案内
⑤アンケート回収
⑥カフェのお手伝い
※仕事内容により、活動の時期が異なります。各仕事の募集状況は下記ウェブサイトをご覧いただくか、下記連絡先までお問い合わせください。

◆応募方法
下記連絡先に氏名・年齢・性別・電話番号・メールアドレス・ご希望の参加日程と活動内容をお知らせください。
※状況により、ご希望以外の活動内容になる場合がございますのでご了承ください。
ご応募時点でご希望の日程・活動内容がない場合は、後日改めて調整をさせていただきます。

「鳥の演劇祭14」ボランティアスタッフ問合せ窓口（担当：藤木・筧）
TEL／FAX：（0857）84-3612
電子メール：volunteer@birdtheatre.org
ウェブサイト：www.birdtheatre.org/engekisai/volunteer/
※ご希望の方は、JR浜村駅と鳥の劇場間を送迎します。事前にご連絡ください。
（時間帯によっては送迎できない場合がございます。）
※本ボランティア活動に報酬はございません。ご了承ください。

【新型コロナウイルス感染防止のための対応】
●作業中の換気・3つの密を避けるための対策をします。
●マスク着用をお願いいたします。
●フェイスシールドや手袋の着用をお願いする場合がございます。
●事前の行動履歴や体調などの聞き取りをさせていただきます。

数年前にUターンで鳥取に戻り、鹿野の街歩きをしている時に劇場に出会いました。
「演劇をやっているのって一体どんな人なんだろう？」という興味から、公演に足を運ぶようになり、ボランティアとしても関わるようになりました。作品づくりを通ふる鳥の劇場の皆さんの姿に、年を重ねたりでも、いつも新しい発見をもらっています。
鳥の劇場ボランティア **中住明史さん**

English Subtitles available
En マークのついた上演では、セリフの英語訳を自動的に表示するiPodをご用意しています。
Programmes marked with EN are available with English subtitles which automatically appear on the iPod screen.